



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社ホロン 上場取引所 東
 コード番号 7748 URL <http://www.holon-ltd.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 新田 純
 問合せ先責任者（役職名） 取締役総務部長（氏名） 菅野 明郎（TEL）04-2945-2951
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年3月期第1四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	35	△56.2	△89	—	△93	—	△93	—
29年3月期第1四半期	80	139.0	△41	—	△52	—	△55	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△27.95	—
29年3月期第1四半期	△16.74	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,842	973	52.9
29年3月期	2,079	1,083	52.1

（参考）自己資本 30年3月期第1四半期 973百万円 29年3月期 1,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	0.00	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

当社の主力事業である製品事業では、装置1台あたりの販売価格が非常に高額なことから、得意先の検収のタイミングにより売上計上時期は大きく変動する可能性があります。従って、月次ごと及び四半期ごとの見通しは立てにくい状況にあるため、業績予想は当社の年間目標として通期のみ開示いたします。

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200	25.1	170	29.1	160	23.5	130	18.6	38.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期1Q	3,340,500株	29年3月期	3,340,500株
30年3月期1Q	—株	29年3月期	—株
30年3月期1Q	3,340,500株	29年3月期1Q	3,340,500株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善し、景気が緩やかな回復基調が続いていくことが今後も期待されておりますが、海外経済におきまして、アメリカの金融政策正常化の影響、中国をはじめアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等の懸念材料もあり、先行き不透明な状況も依然として続いております。

半導体業界におきましても、NAND型フラッシュメモリが装置需要を引っ張り、今後も7nmプロセスの技術革新や3D-NANDへの投資が業界を牽引していく様相となっております。

このような状況のもと、当社は半導体産業及び関連事業分野における最先端技術を支える検査計測装置を中心に事業を展開しております。当第1四半期累計期間におきましては、当社の主力製品でありますマスクCD-SEM「Zシリーズ」の更なる機能向上へ向けた研究開発を進め、また、当社保有技術の核となる「電子顕微鏡カラム」の受注につきましても順調に推移いたしました。

この結果、売上高は35百万円（前年同四半期比56.2%減）となりました。損益につきましては、営業損失89百万円（前年同四半期は41百万円の営業損失）、経常損失93百万円（前年同四半期は52百万円の経常損失）、及び四半期純損失93百万円（前年同四半期は55百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて15.1%減少し、1,339百万円となりました。これは、仕掛品が112百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が357百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて0.3%増加し、502百万円となりました。これは、無形固定資産が1百万円減少した一方、有形固定資産が3百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて11.4%減少し、1,842百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ16.7%減少し、474百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が50百万円増加した一方、短期借入金が150百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度に比べて7.5%減少し、393百万円となりました。これは、長期借入金が31百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて12.7%減少し、868百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて10.2%減少し、973百万円となりました。これは、利益剰余金が110百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、年間目標をおおむね計画通りに推移しており、平成29年5月12日に発表いたしました業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	672,082	656,343
受取手形及び売掛金	460,390	102,808
電子記録債権	48,060	48,060
仕掛品	279,642	392,358
原材料	92,713	99,694
その他	25,629	40,602
流動資産合計	1,578,518	1,339,867
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	178,285	192,259
その他(純額)	189,702	179,722
有形固定資産合計	367,987	371,982
無形固定資産	79,810	78,761
投資その他の資産	52,777	51,546
固定資産合計	500,575	502,290
資産合計	2,079,093	1,842,158
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,533	107,813
電子記録債務	37,670	45,401
短期借入金	150,000	—
1年内返済予定の長期借入金	134,064	128,710
未払法人税等	—	1,289
賞与引当金	9,984	19,673
製品保証引当金	29,839	25,604
その他	150,182	145,989
流動負債合計	569,274	474,481
固定負債		
長期借入金	308,073	276,243
退職給付引当金	104,849	105,617
その他	13,086	12,088
固定負債合計	426,008	393,949
負債合計	995,283	868,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	692,361	692,361
資本剰余金	163,754	163,754
利益剰余金	227,694	117,610
株主資本合計	1,083,810	973,727
純資産合計	1,083,810	973,727
負債純資産合計	2,079,093	1,842,158

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	80,940	35,444
売上原価	46,486	29,652
売上総利益	34,454	5,792
販売費及び一般管理費	76,190	95,169
営業損失(△)	△41,736	△89,376
営業外収益		
受取利息	14	21
その他	47	10
営業外収益合計	62	32
営業外費用		
支払利息	715	558
為替差損	10,149	3,302
その他	74	—
営業外費用合計	10,938	3,861
経常損失(△)	△52,612	△93,205
税引前四半期純損失(△)	△52,612	△93,205
法人税、住民税及び事業税	2,775	175
法人税等調整額	523	—
法人税等合計	3,298	175
四半期純損失(△)	△55,911	△93,380

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。